



これでいいのか！

新知事には、埼玉県を正しく発展させる候補者を

条例違反・約束破り

自らの提案を破るのは前代未聞!!

- 多選自粛条例の提案時、知事は「単にマニフェストで約束をしたということではなくて、私自身の筋金入りの提案」「おのずからの政治信条、政治信念に基づく」と議会を説得。
- 自民党は県議会で懸念を表明しましたが、知事の熱意を受けてこの条例の可決に協力しました。
- それを今、反故にすることは個人の公約違反だけではなく、埼玉県民全体の不名誉です。

条例は
政治信条、信念

と言っていたのに

条例は
普遍的なものではない
と変えた

●平成16年6月定例会……………条例提案説明

Q 県議 多選自粛について恒久的な信念がないなら、条例として提案することは議会に失礼なこと。知事の公約程度にとどめておくことで十分かつ適切だ。

A 知事 私は、衆議院時代のと看知事と政令指定都市の首長の4選禁止法案を国会に提案する寸前まで詰めたことがあった。あいにく政権の枠組みが変わりとんざしたけれども……。新生党では私が筆頭提案者になっていた。

単にマニフェストで約束をしたということではなくて、私自身の筋金入りの提案だ。
条例案に私自身に限るとあるのは、おのずからの政治信条、政治信念に基づくという意味だ。

●平成27年6月………記者会見

知事は県庁で記者会見を開き、あらためて多選自粛条例の改正案や廃止案を自ら提出する考えがないことを明言。多選自粛条例に対しては、「**条例は私自身の政治信条を縛るもので、普遍的なものではない**」と述べ、4選出馬を正式に表明した。

県民会議では

約束を守る候補者を応援しています。

- 埼玉県は明るく希望に満ちてなくてはなりません。
- 知事が自ら提案した条例を破るのは前代未聞。公約違反にとどまらず、地方自治の危機です。このままでは、埼玉県は正道を外れ、発展の道を失ってしまいます。
- 今、埼玉の危機に直前し、「**今やらねばやる時はない**」と強く感じます。
「**明るく・正しく・伸びる埼玉**」を皆さまと築いていきましょう!!

SAITAMA

あなたの一票を「正道をゆく」候補者へ